

■研究課題名 切迫流・早産における子宮頸管短縮と分娩転帰：多施設共同後向き
コホート研究—パイロット研究—

■研究期間承認日～ 2019年3月

1. 研究の意義と目的

子宮頸管の長さや早産のリスクの関係を検討することは、将来の切迫早産の標準的診断基準を作るために有用と考えられます。妊娠16週0日～34週6日までに切迫流・早産あるいは子宮頸管無力症の診断で入院した患者さんの臨床情報を収集することによって、今後の切迫早産の診断や治療の指針を作成し、早産の予防や新生児短期・長期予後改善を目的としています。

2. 研究の方法

2012年4月から2015年4月までに切迫流産・切迫早産・子宮頸管無力症と診断され、入院された、妊娠16週0日～34週6日の患者さんの診察録から情報収集を行います。

3. 個人情報の保護について

この研究を実施するにあたり、診療録から収集したデータは、個人が特定されないように配慮いたします。また、データは、研究責任者がパスワードを設定したファイルに記録し、キャビネットに施錠して保管します。研究終了後にはデータを全て消去したうえで、粉碎等の物理的な破棄を行います。さらに、データは研究目的以外に使用することはありません。

データの使用について、拒否される方は下記の研究責任者まで、ご連絡ください。

4. 結果の公表

研究結果は学会、論文で発表する予定です。その際には、個人情報は一切公表されません。

5. 問い合わせ先

【研究責任者】

順天堂大学医学部附属浦安病院 産婦人科 宮国泰香

〒279-0021 千葉県浦安市富岡 2-1-1 047-353-3111